

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ルツ記 2:12…………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 25番
- *交読文 …………… 41番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 256番
- メッセージ …………… 汚れた世界の只中の小さな叫びを聞いて下さる主(ヨシュア記 2章)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …………… 199番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

彼は悩みを与えられるが、そのいつくしみが豊かなので、またあわれみをたれられる。彼は心から___を苦しめ悩ますことをされないからである。地のすべての捕われ人を足の下に踏みじり、いと高き者の前に人の公義をまげ、人の訴えをくつがえすことは、主のよみせられないことである。(哀歌 3:32-36)

わたしは、もうひとりの御使が中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきて、大声で言った、「神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め」。

また、大群衆の声、多くの水の音、また激しい雷鳴のようなものを聞いた。それはこう言った、「ハレルヤ、全能者にして主なる___の神は、王なる支配者であられる。___は喜び楽しみ、神をあがめまつろう。小羊の婚姻の時がきて、花嫁はその用意をしたからである。(黙示録 14:6-7、19:5-7)

邪悪な事・汚れた事・人を虐げる事を、自ら好き好んで為し、何の良心の咎めが無い者達に、神の裁きが降る事がローマ人への手紙 1章に啓示されていた。そのような者達は、不朽の神の栄光を、朽ちる人間や鳥や獣や這うものの像に取り替え(ロマ 1:23)、欲情に駆られて自分の体を互いに辱め、汚すままに任せられ(同 24)、男女の自然な関係を不自然なものに取り換え、その乱行の当然の報いを受けた。(同 26-27) ローマ 1章 29-31 節には、主が「死罪に値する」としている21項目が出てくるが、それらの事を自ら、好んで行い、また、それを行う者に心から同意する者達に対し、神の裁きが降ると記されている。(32 節) では、幼い時からそのような者達から被害を受けながら、自分も汚れた価値観・邪悪な習慣の中で育ってしまい、自分を変えられず、神に喜ばれるきよい価値観を知らないまま苦しんでいる人達はどうか。神は、そのような人達の叫び声も、もれなく聞いておられ(創世記 4:10、19:13、ヤコブ 5:4)、正しく扱われる。今回、その一例として、そのような中から神によって見出され、救い出された遊女ラハブを見てみたい。

彼女は、弱肉強食のカナンの中、エリコという堅固な都市の、城壁の中に立て込まれた家に住んでいた。その町の城壁に住んで、という点では、セキュリティは保たれていたかもしれないが、彼女は遊女だった。来る日も来る日も身売りをし、いくばくかの報酬を得ては家族に持ち帰る、という日々を送っていた。遊女になるのを夢みてなる女の子はいないし、自分の娘や姉、妹が遊女になって欲しいと思う者もない。なぜそうなってしまったか。それは、自分も家族も生きて行かなくてはならなかったからであり、身勝手な者達が効率よく欲望を発散させるシステムで、そのような事が汚れた事と思わさなくて育ってしまったからだ。ラハブは、変わりたくても変わらぬ日々の中、ある噂を聞いていた。力ある唯一の神と、その民について。その民は、力ある神に守られ、神から与えられた律法は、道徳的に優れ、弱者に優しく、それを守り行って祝福された彼らは、川向こうの強力な二人の王を滅ぼし、さらに勢いと力を増しているという。過酷な要求ばかりして来る者達から、また、まもなく滅ぼされてしまうこの世界から、できれば救われたい。しかし、そんな自分の思いを誰かに伝える術はなく、ただ周りは過酷な要求をしてくるばかりだった。しかし、全能なる神は、彼女の思いを知っていた。主は御目をもってあまねく全地を見渡し、その心が、ご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてくださるのだ。(2歴代誌 16:9)

そんなある日、彼女の元に、二人の男が来た。彼らは今まで出会ったどんな男達とも違って、分別と秩序があり、何か任務についているようだったので、彼女は、彼らこそあの民の斥候だ、と直感した。そしてその二人の者達が来た事はすぐにエリコの王に知られる所となり、捕り手が彼女の家に来て、その扉を叩いた。その時、彼女は意外な行動に出る。命の危険を冒して、その二人を、かくまったのだ。なぜリスクを犯してかくまったのか。それは、彼女の普段からの願いと信仰が、咄嗟に現れたからである。(ヘブル 11:31) 彼女は、命の危険に晒されていた彼らに、逆に、命乞いをする。『あなたがたの神、主は上の天にも、下の地にも、神でいらせられる…。どうか、私があなたがたを親切に扱ったように、あなたがたも、私の父の家を親切に扱われることをいま主をさして誓い…。私達の命を救って、死を免れさせてください。』(2:11-13) 彼女は、普段から信仰があったからこそ、この二人が来た時、咄嗟にこの告白が出て、そして実際に、救われたのだ。彼女は彼らの指示通り、窓に赤い印をつけた。エリコが裁かれる日、7人の祭司が7つの角笛を吹き鳴らした時、代々築き上げて来た城壁は崩れ去ったが、その印の内側にいた者は、全員助かった。そして彼女は、サルモンという素晴らしい夫を得、ボアズを産み、ダビデへと続く家で生きる幸いに入った。

ヨシュアの時代、7人の祭司が7つの角笛を吹き鳴らした時、代々築き上げて来た城壁が崩れ去ったように、この世も、7人の御使いが7つのラッパを吹き鳴らす時、人類が積み上げてきた全ての英知は崩れ去り、全ては、主キリストのものとなる。(黙示 11:15) 世界の滅びが近づいているとぼんやり認知し、その滅びから救われたい、今の過酷な状況から救われたい、と思う者は多いが、主は全地をあまねく探しておられる。救いに入ろうとする志のある人を。救われるためには、ラハブのように、イエス様こそ救い主であると信仰告白をし、イエスの血という赤い印をつけ、神の民として見合った行動が必要である。その行いによって栄光の家系に加えられ、永遠に生きる皆さんでありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会 礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30～
2部礼拝 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058 パスター: 林和也 川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>
email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube